



# 株式会社 要興業 中間決算説明会資料

2019年11月26日

# 会社概要

社名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル
代表者	代表取締役社長 藤居 秀三
創業	昭和47（1972）年6月
設立	昭和48（1973）年4月
資本金	8億2773万6875円
従業員数	392名（2019年3月末日時点、単体） （注）アルバイト・パートタイマー等240名は含まれておりません。
収集運搬車両	300台（2019年3月末日時点、単体）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 収集運搬・処分事業</li><li>・ リサイクル事業</li><li>・ 行政受託事業</li></ul>

## 経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

## 経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため  
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 持続発展をめざし、株主と社員を大切にします

# 会社説明①収集運搬車両

収集運搬車両台数は300台（2019年3月末日時点、単体）

- 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



- 感染性廃棄物運搬車



- 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



- 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



- 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）



- 計量車両



# 会社説明②23区内の拠点図

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

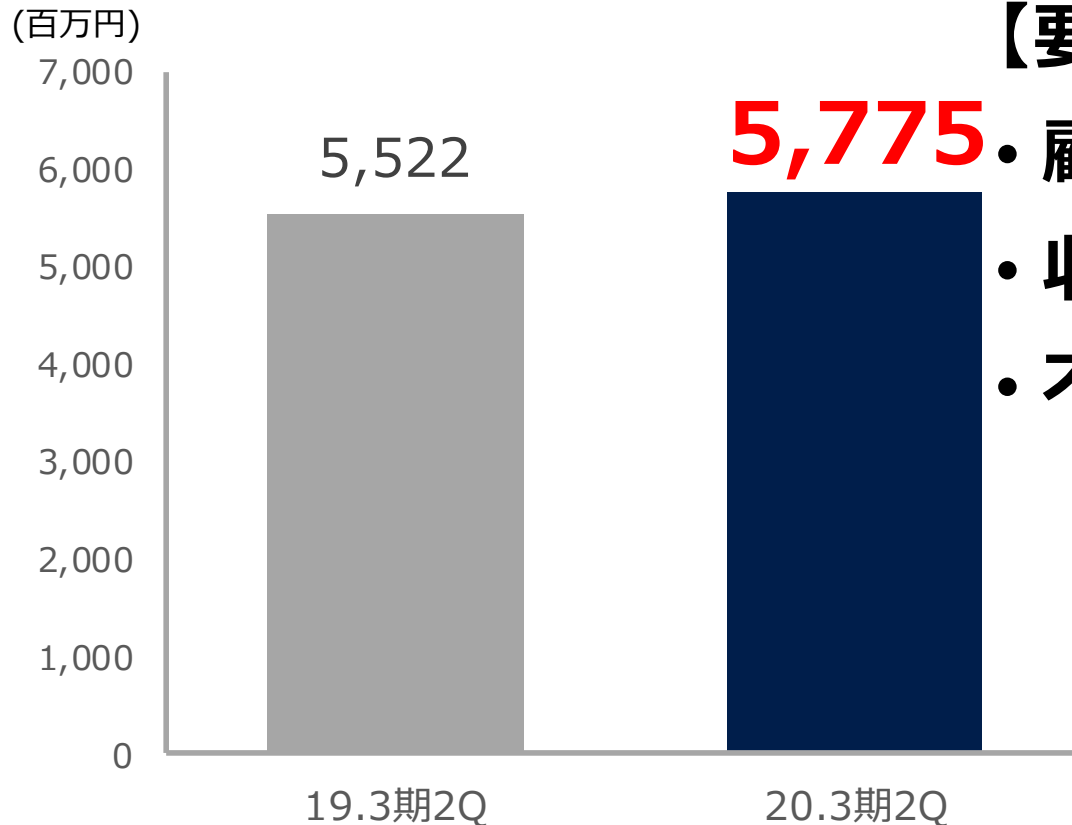
産 産業廃棄物



# 2020年3月期 第2四半期連結業績



## 【売上高】



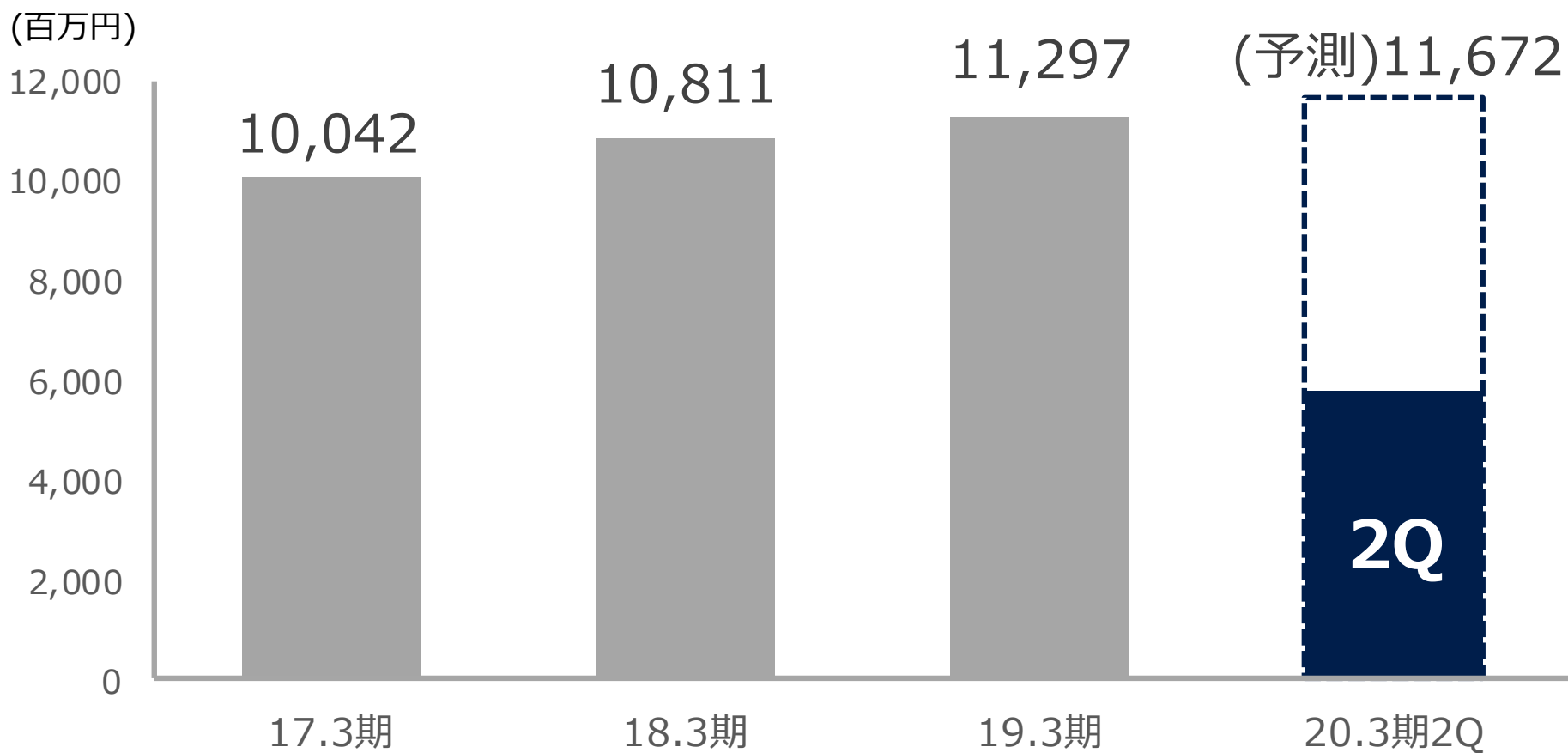
前年同期比 **4.6%増**

## 【要因】

- 顧客数の増加
- 収集現場数の増加
- 不燃事業の拡大

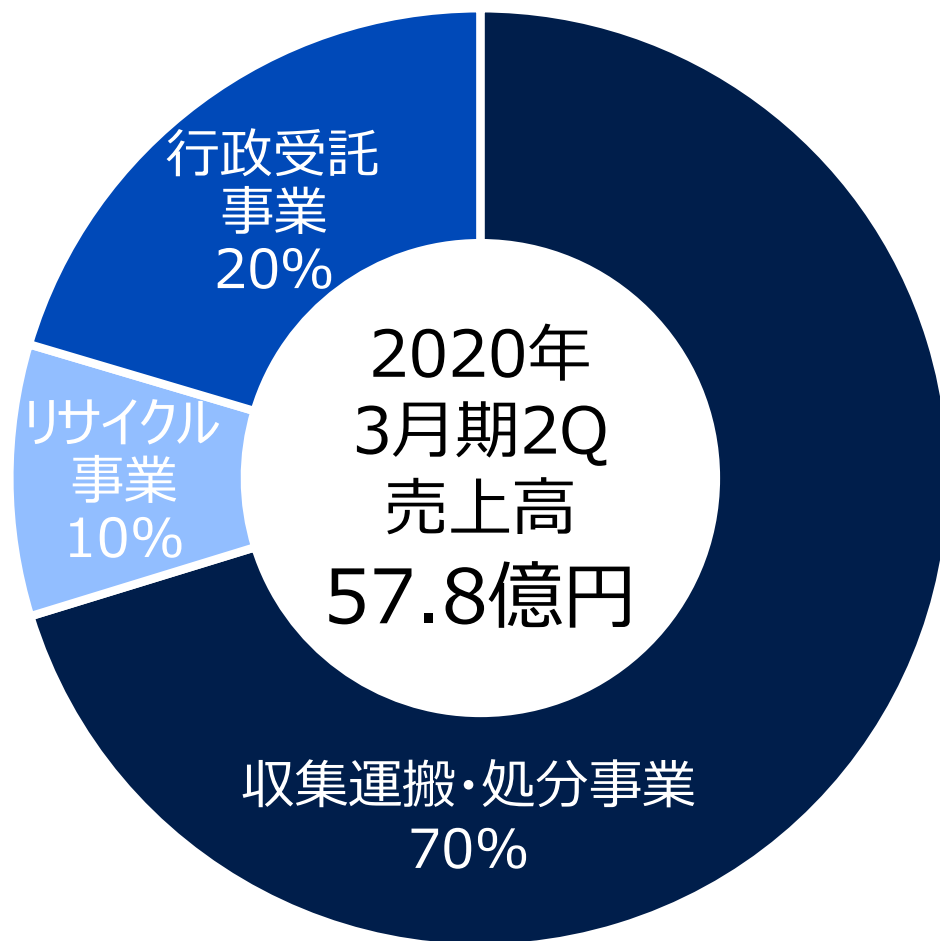
【売上高】

5,775百万円





## 【事業区分別の売上高構成】



**収集運搬・処分事業**  
**4,056百万円**

**リサイクル事業**  
**540百万円**

**行政受託事業**  
**1,178百万円**

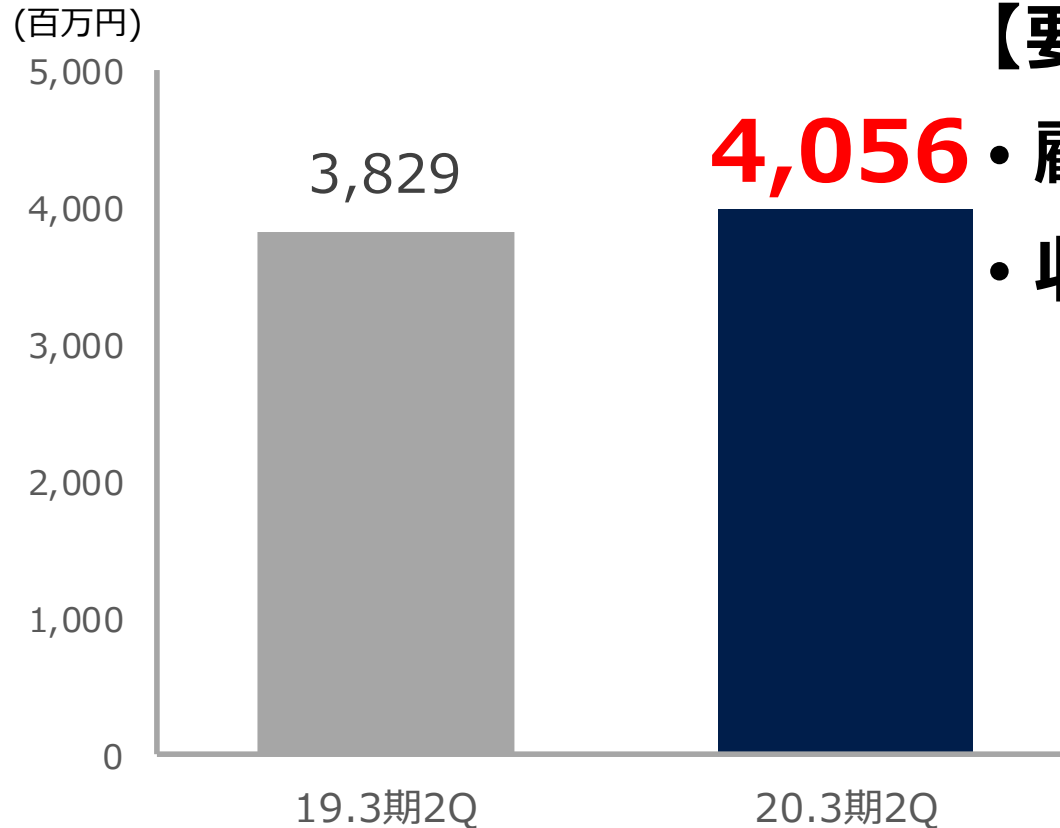
# 当社のビジネスフロー

廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上



## 【収集運搬・処分事業】

前年同期比 **5.9%増**

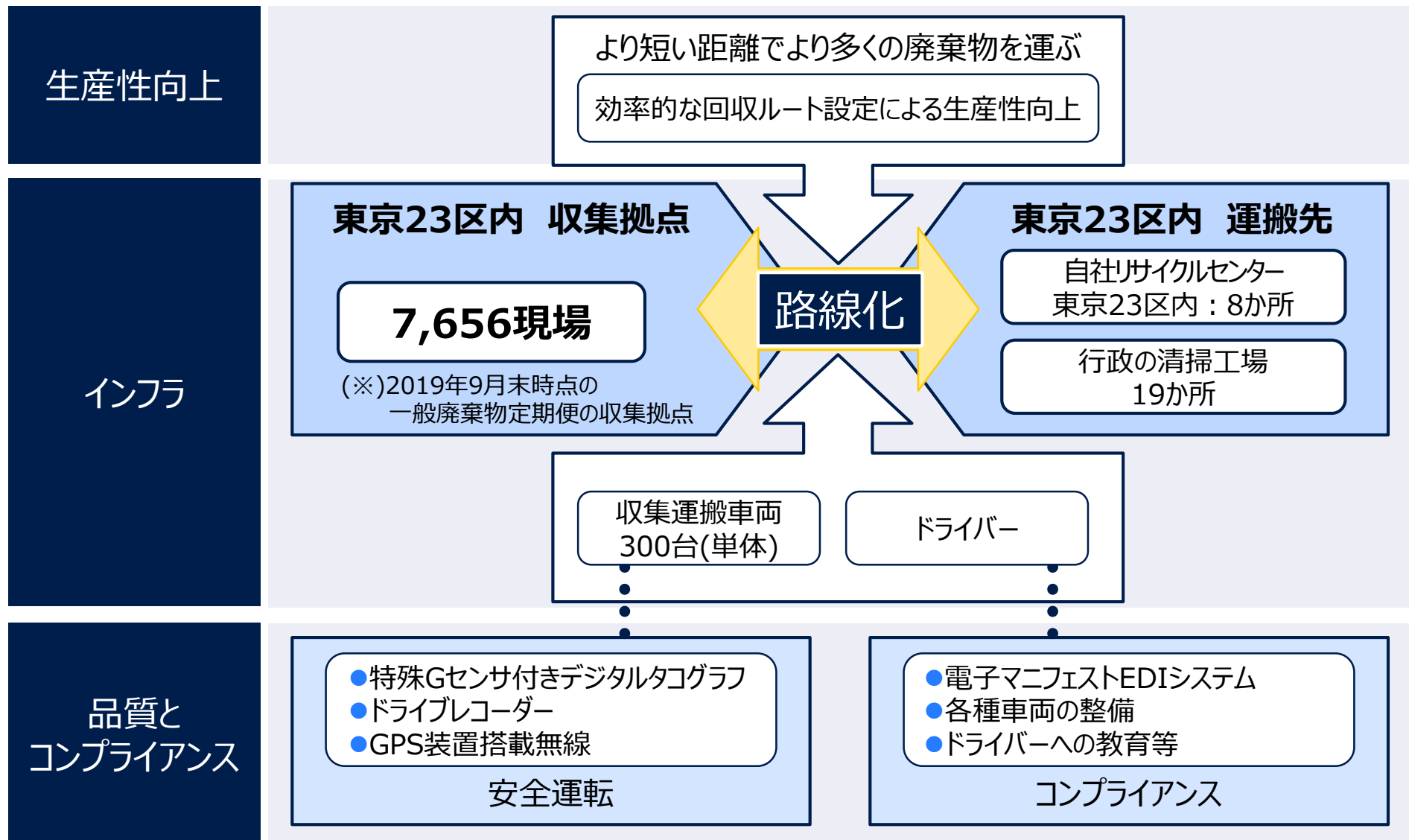


## 【要因】

- 顧客数の増加
- 収集現場数の増加

# 収集運搬・処分事業の概況②路線化

東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立

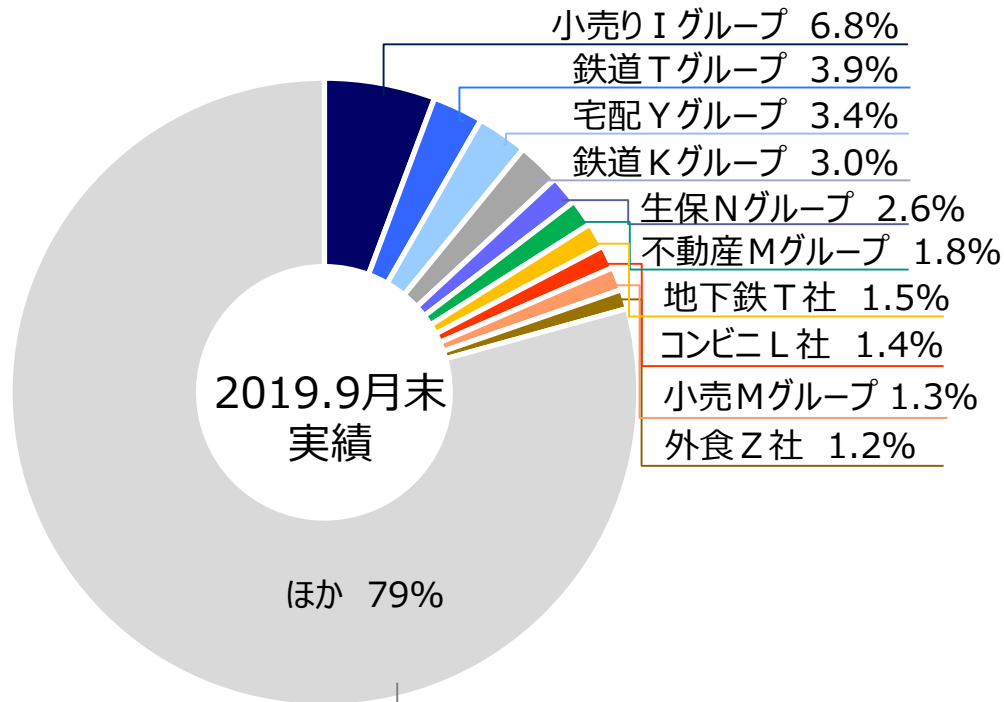


# 収集運搬・処分事業の概況③顧客先と営業体制

業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制  
コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

## 顧客別売上高構成比 (%)

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、  
一般企業、など**3,248社**が顧客



流通、小売り、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、  
証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など  
あらゆる業種、事業体

## 業界随一のコンプライアンス体制

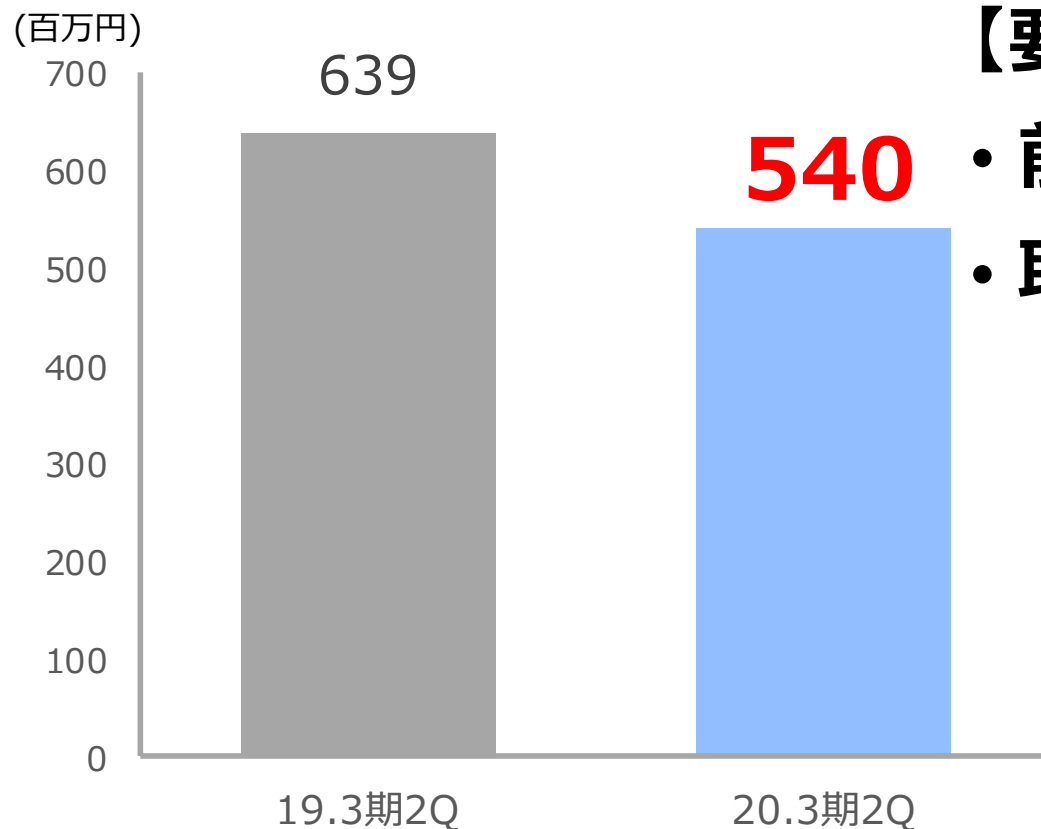
- ◆ 業界唯一のマニフェスト管理(自社ソフト開発)
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

継続的な施策の実施  
社会的信頼を得る努力

## 業界唯一のコンサルティング営業

- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など

## 【リサイクル事業】



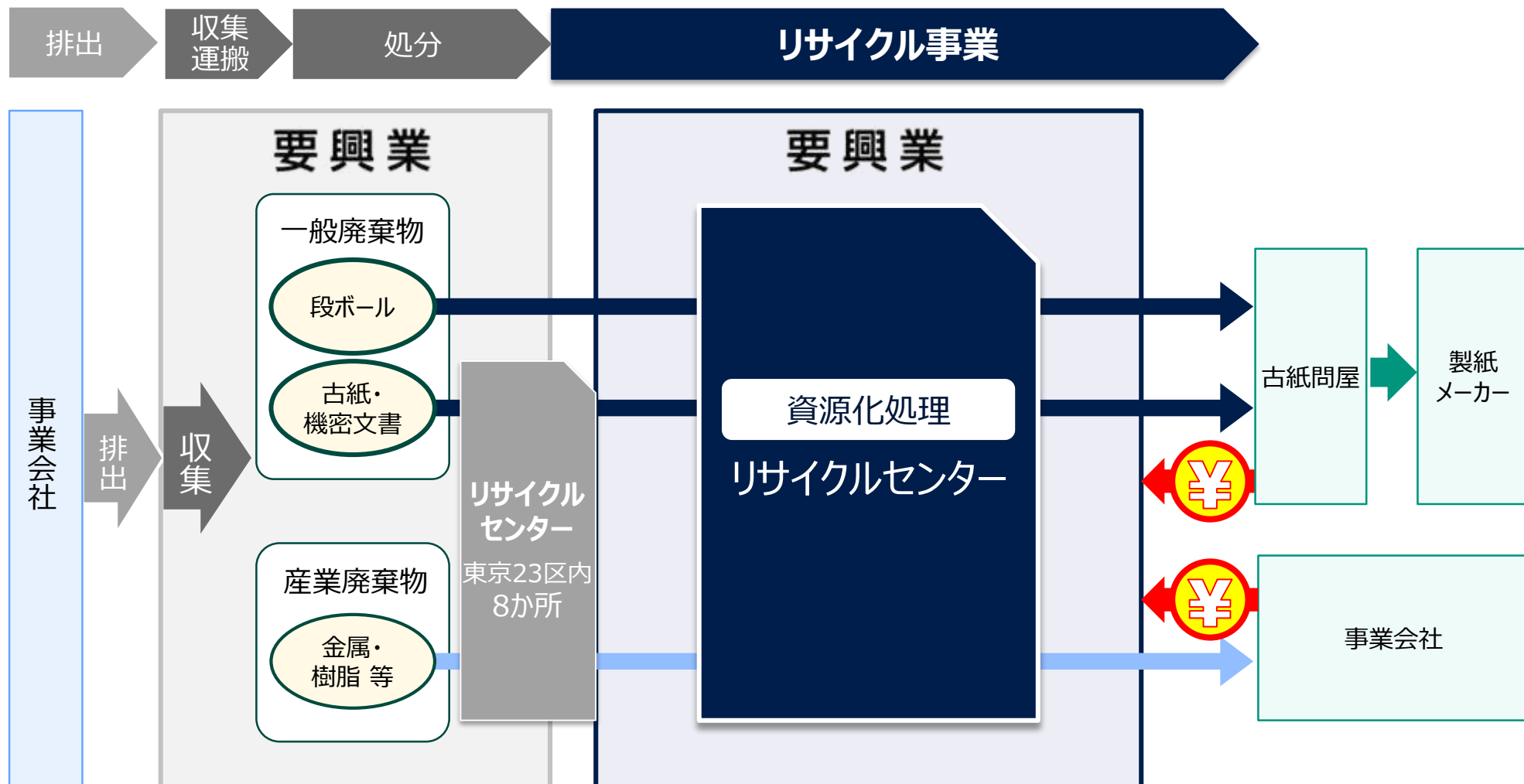
前年同期比 **15.4%減**

## 【要因】

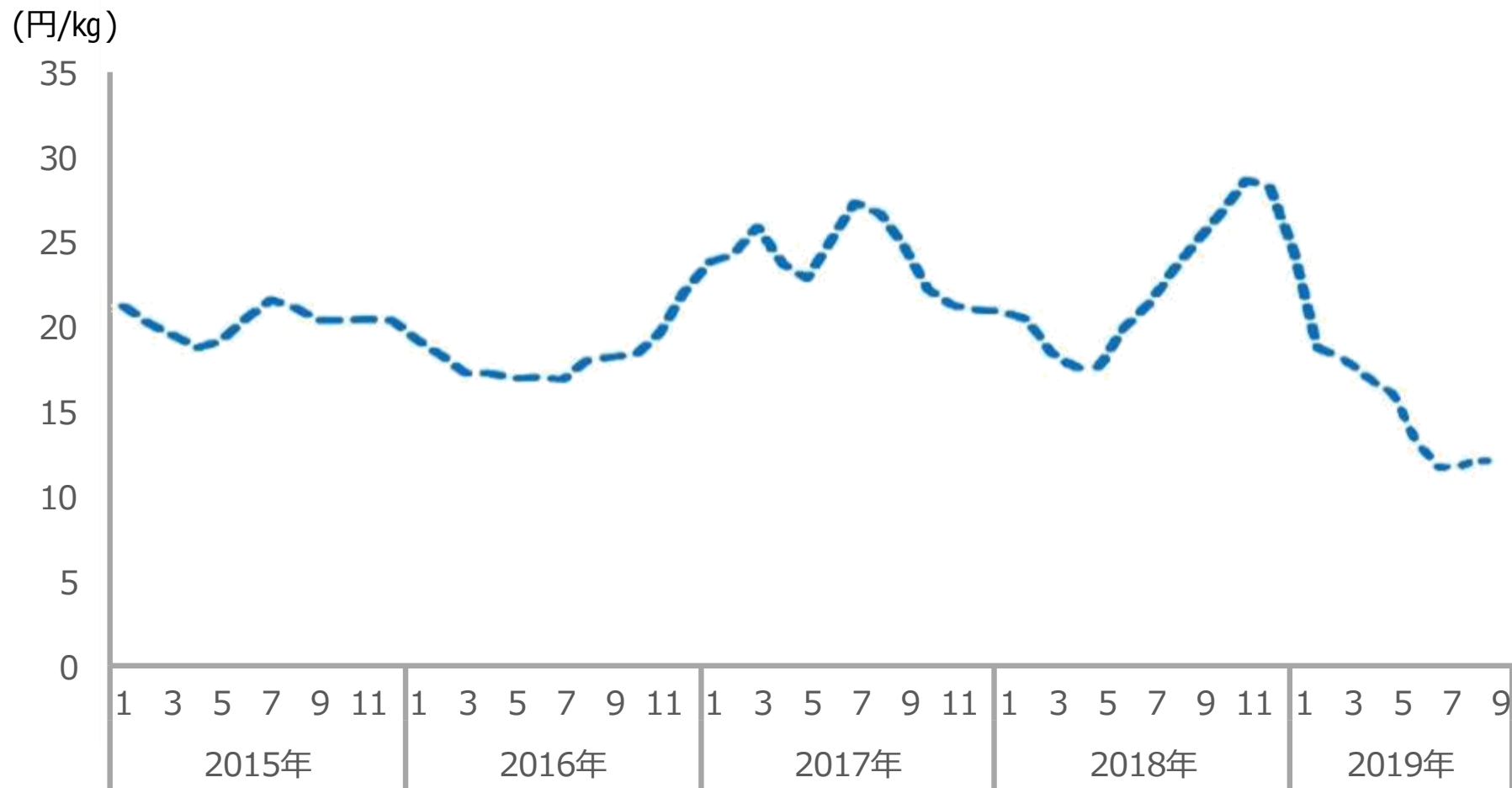
- ・ 前年度比での資源単価の下落
- ・ 取扱量は堅調に推移

# リサイクル事業の概況②事業の説明

## リサイクルした資源物を**販売**する事業



## リサイクル事業の概況②段ボールの市況



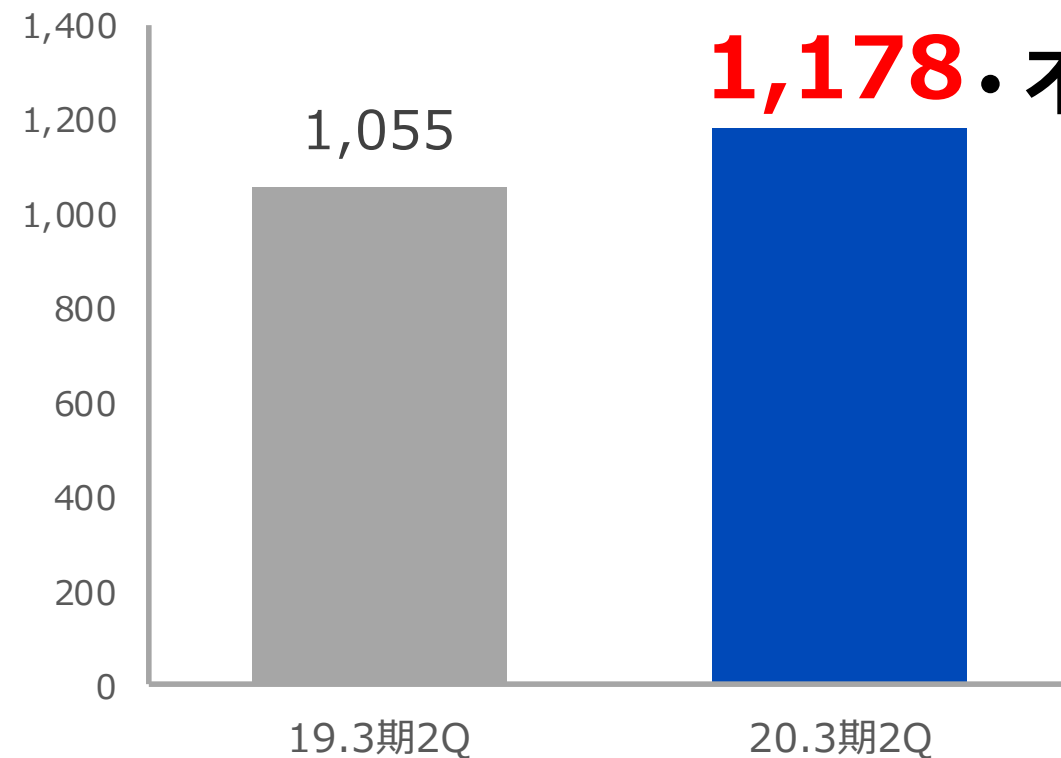
--- 輸出価格(円/kg)  
FOB価格(HS:470710-000)(資料:財務省)



## 【行政受託事業】

前年同期比 **11.7%増**

(百万円)

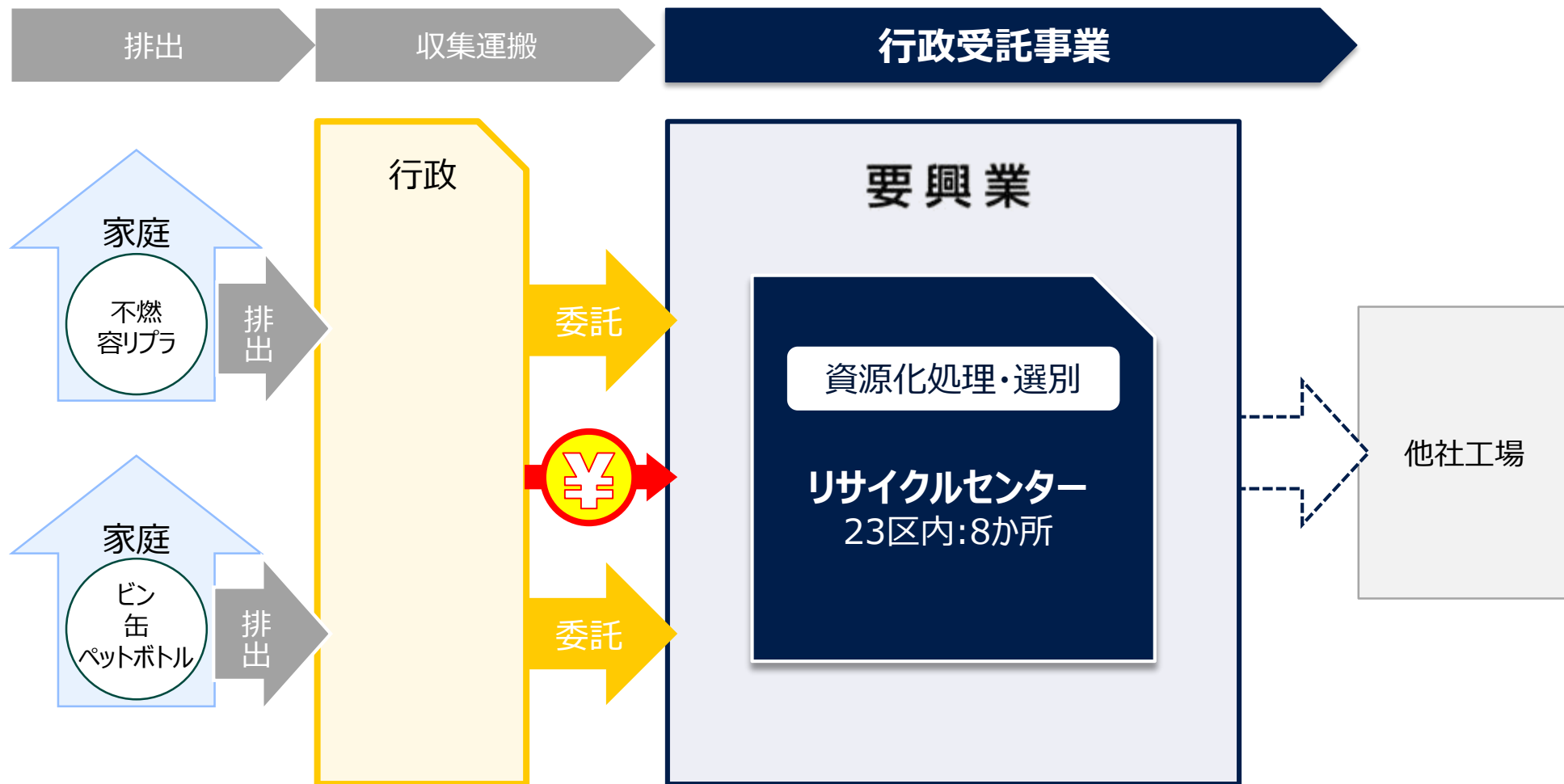


## 【要因】

**1,178**・不燃ごみ処理の拡大

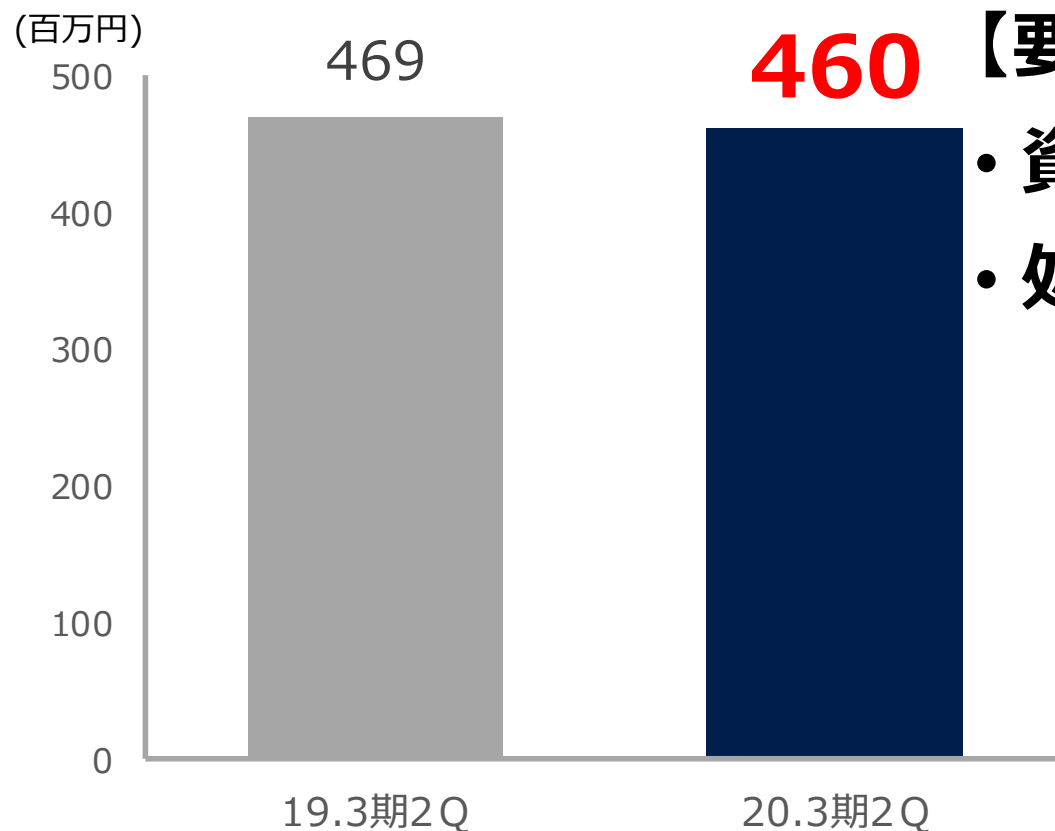
# 行政受託事業の概況②事業の説明

リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**資源化処理**



## 【営業利益】

前年度比 **1.8%減**

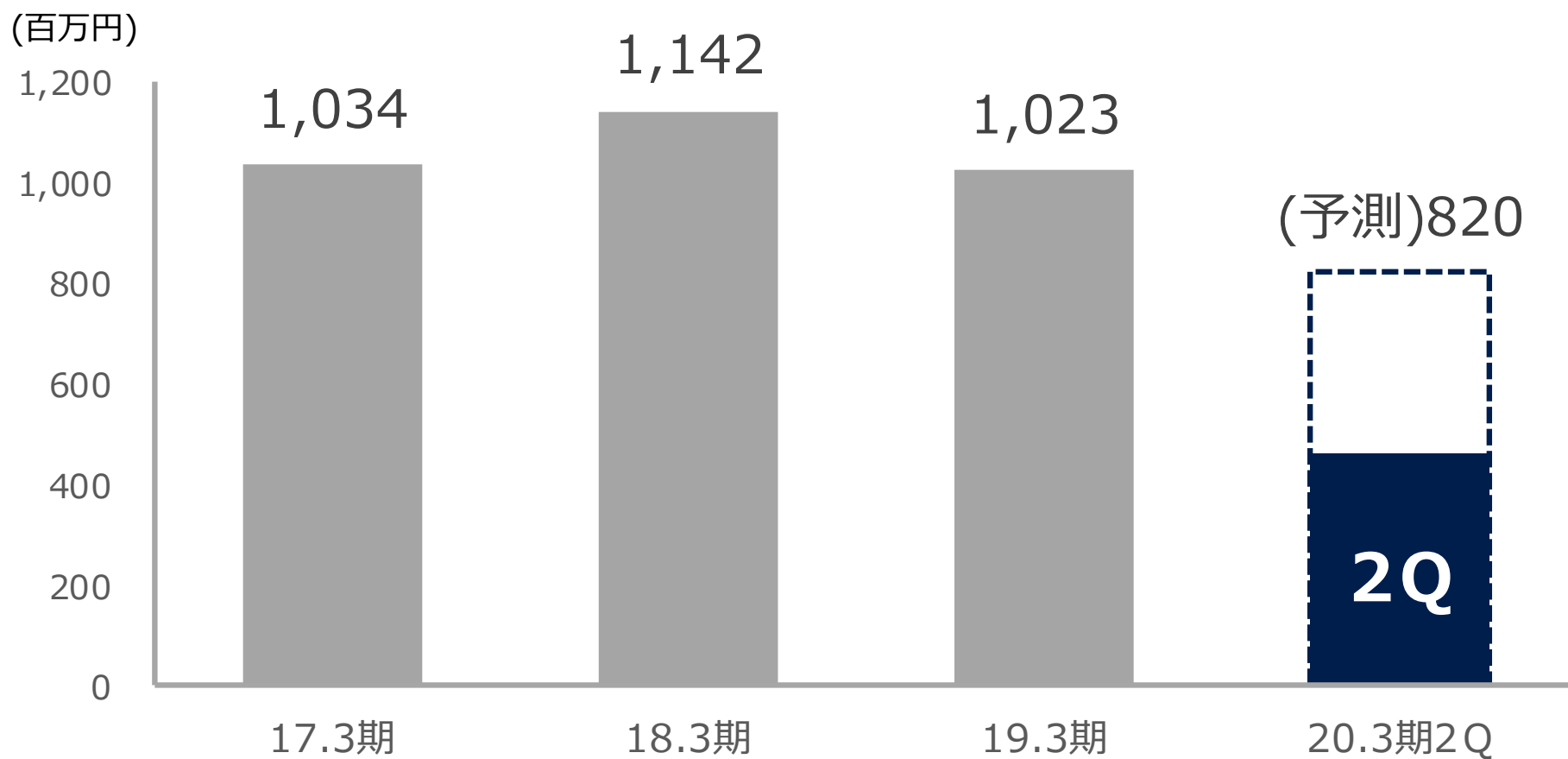


## 【要因】

- 資源相場の変動
- 処理費用の増加

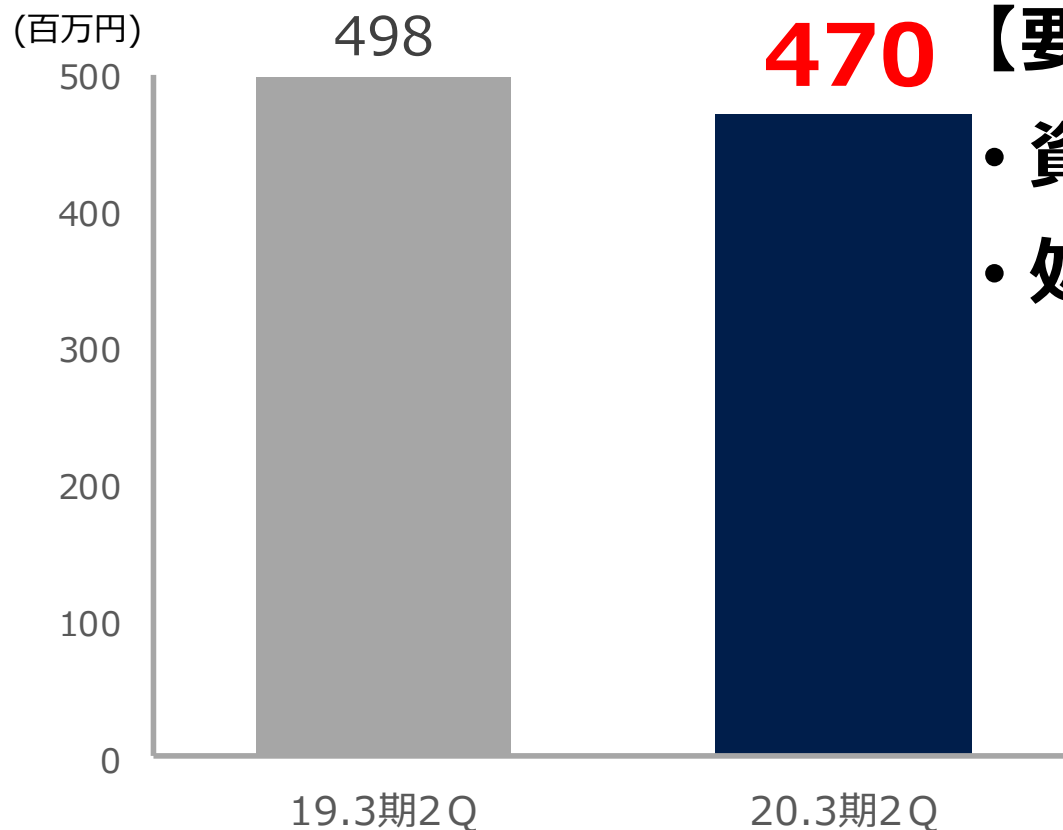
## 【営業利益】

**460**百万円



## 【経常利益】

前年度比 **5.5%減**

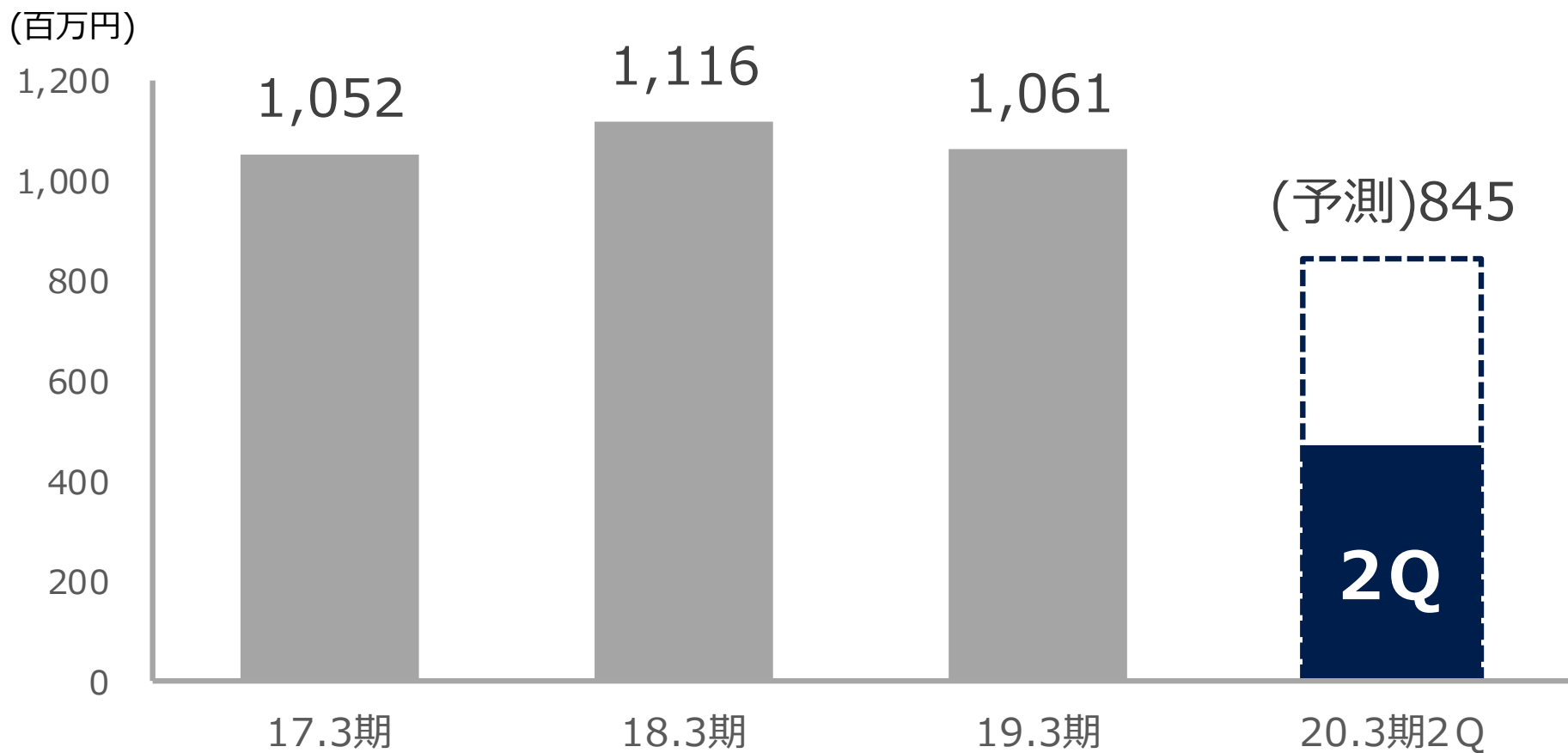


## 【要因】

- 資源相場の変動
- 処理費用の増加

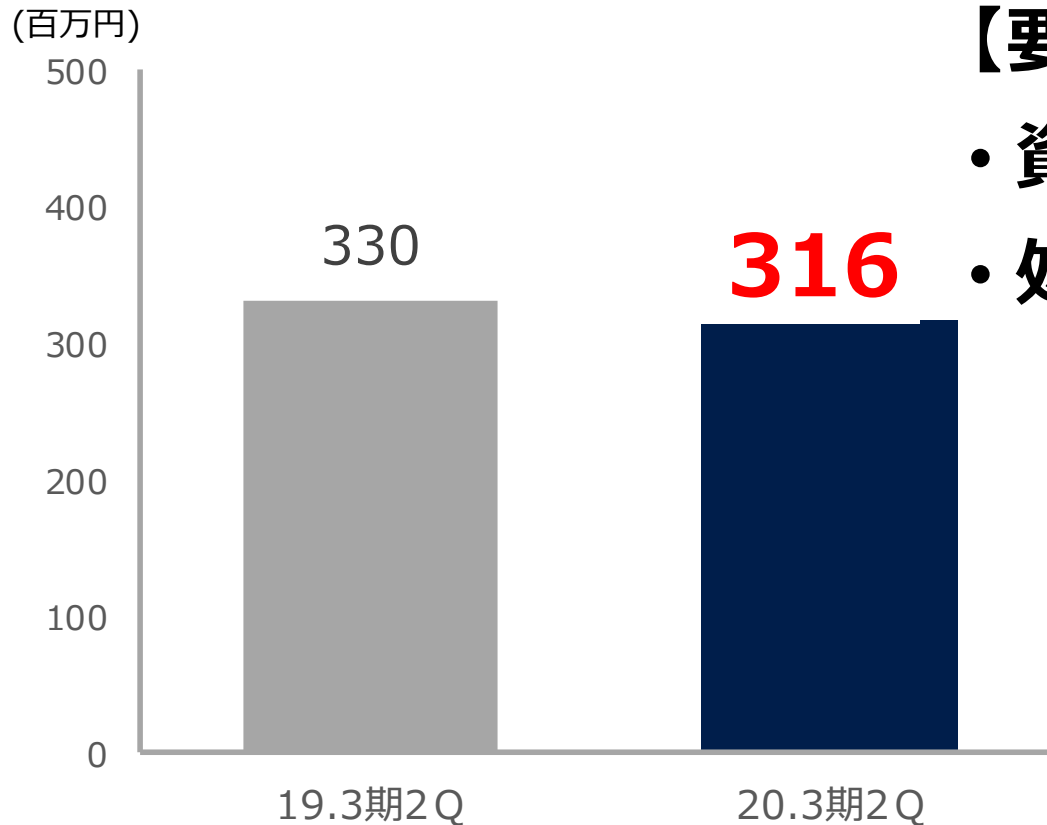
【經常利益】

470百万円



## 【親会社株主に帰属する当期純利益】

**前年度比 4.1%減**

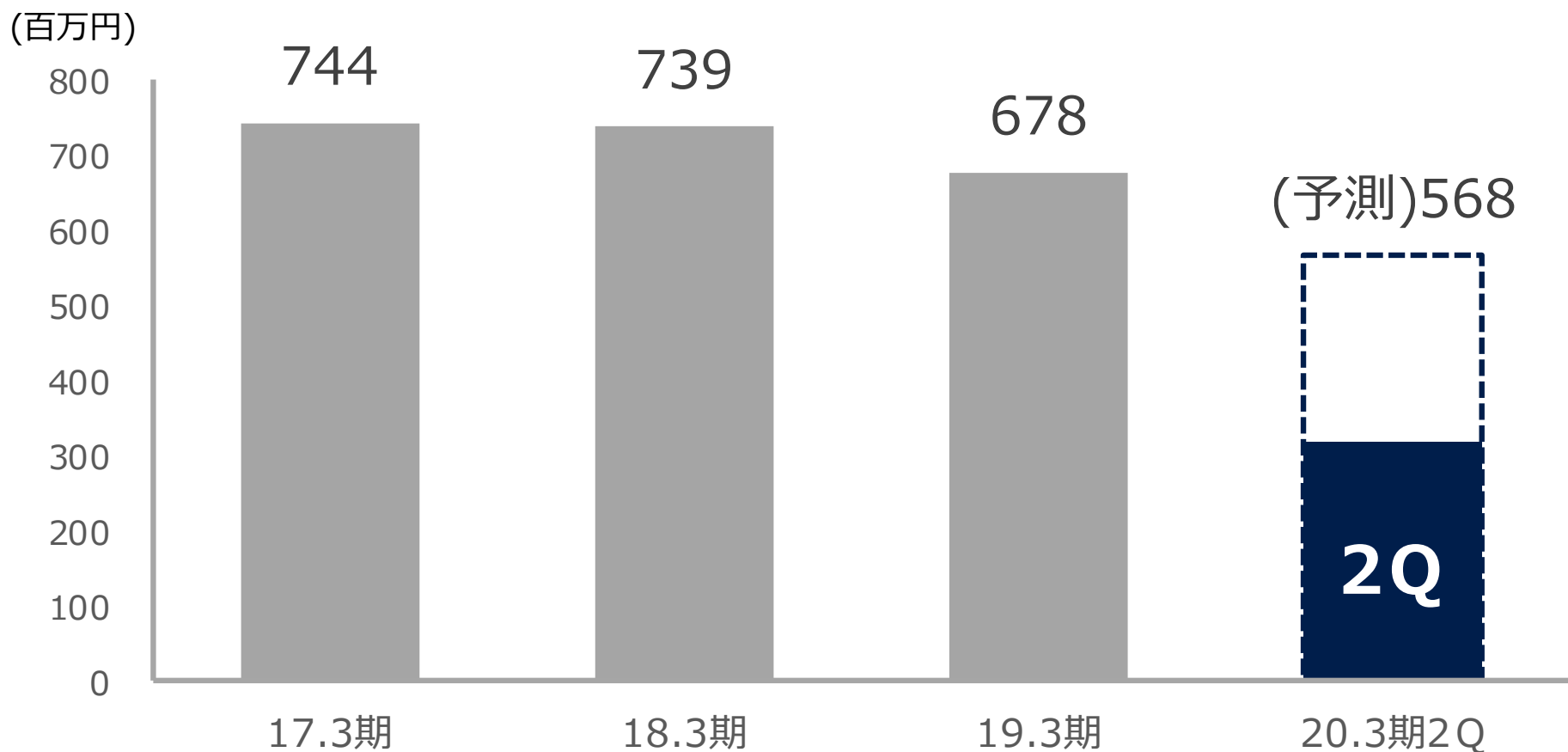


## 【要因】

- 資源相場の変動
- 処理費用の増加

【親会社株主に帰属する当期純利益】

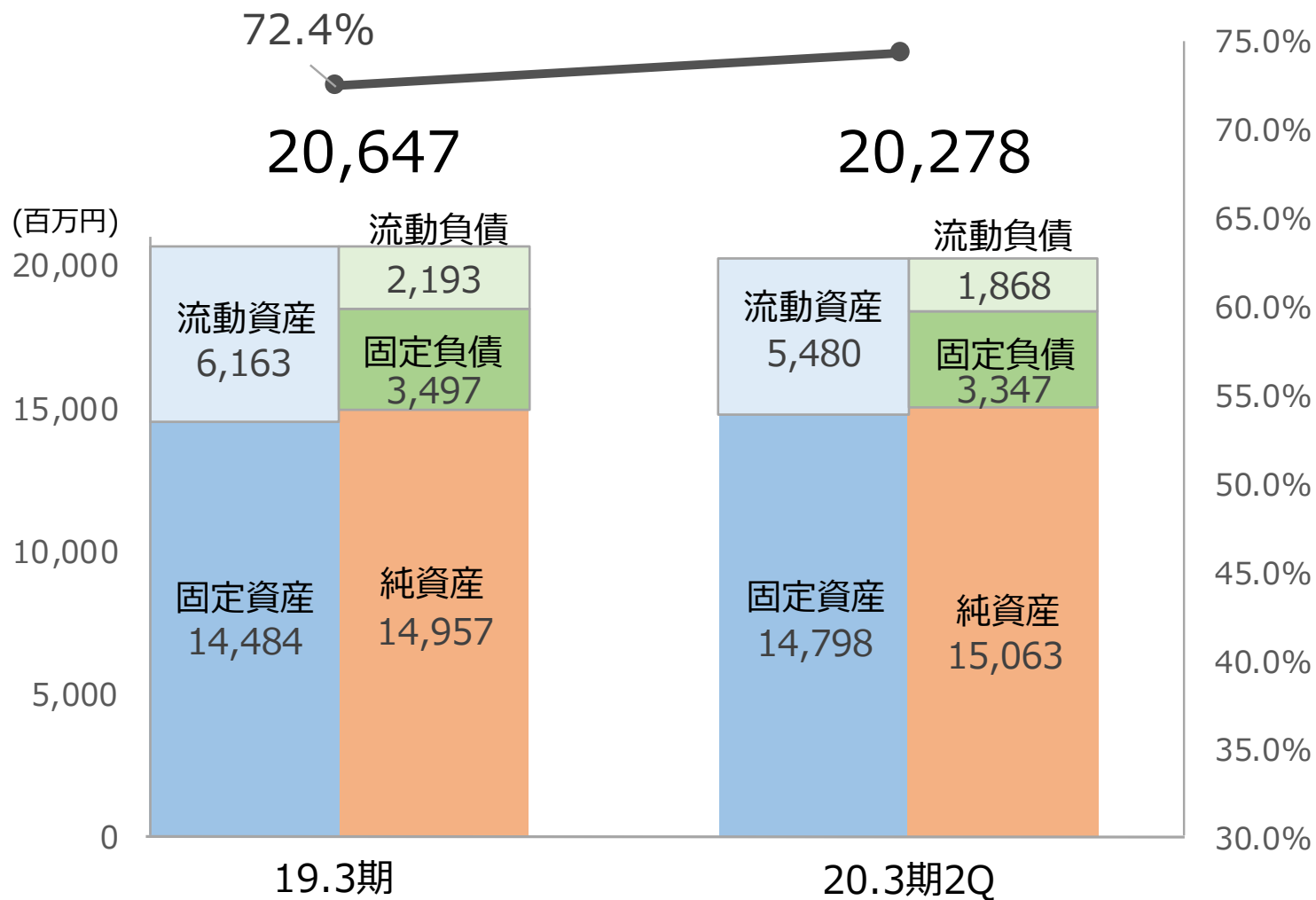
316百万円



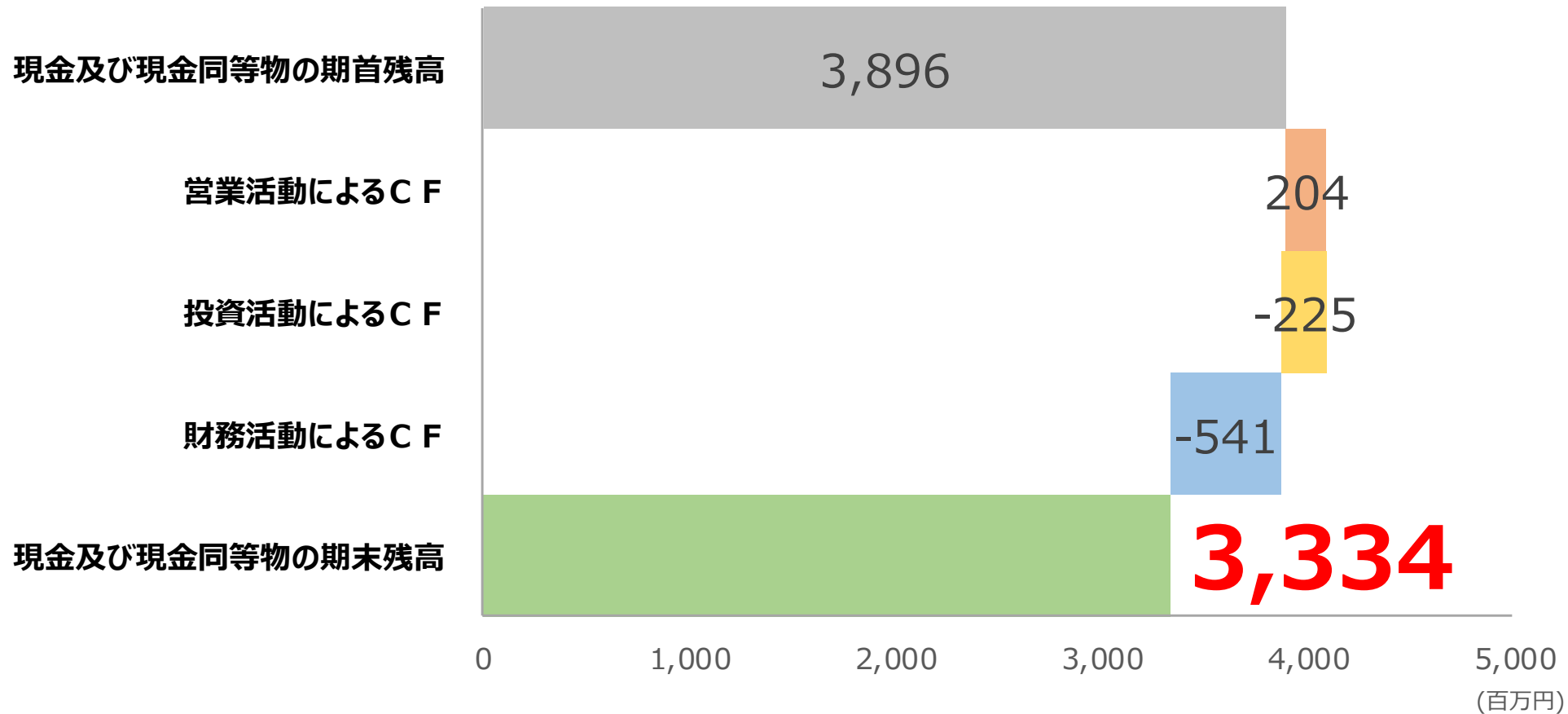


【連結貸借対照表】

# 自己資本比率 **74.3%**

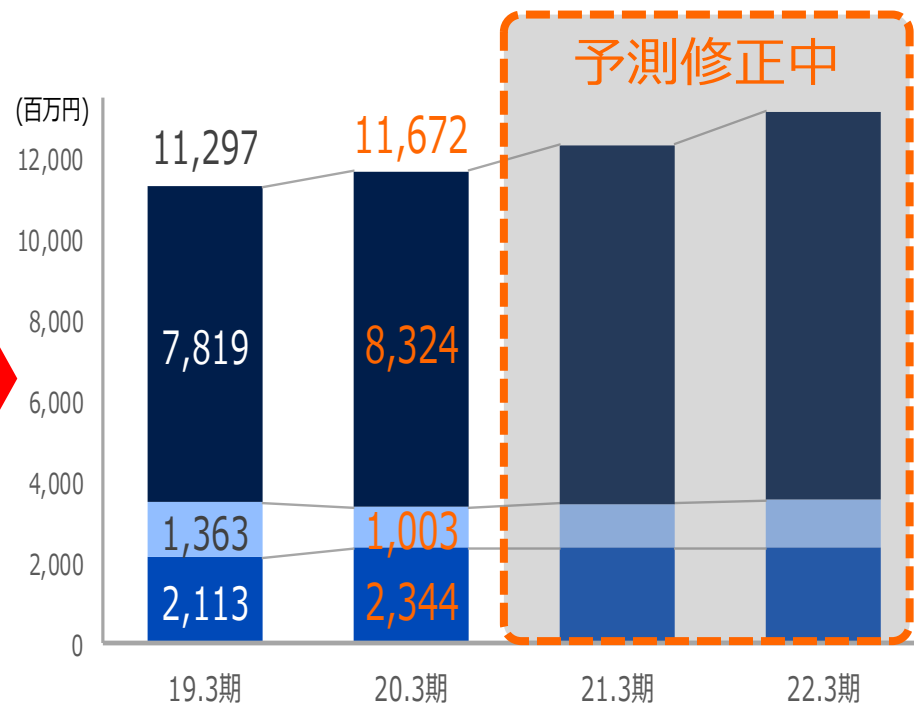
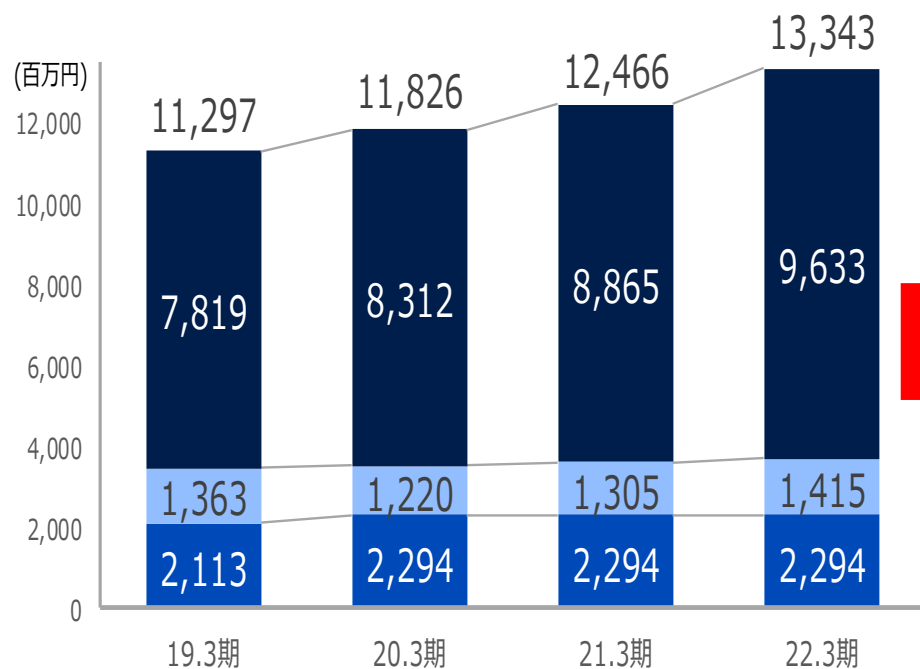


## 【キャッシュフロー】



## 【売上高】

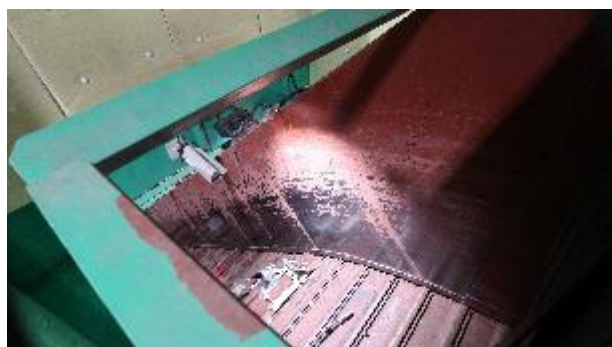
### 2019年3月期決算説明会時に 公表した連結業績予想



# 2020年3月期 第2四半期トピックス



## 【鹿浜リサイクルセンターの粗大ごみ処理施設が稼働】



## 【大森リサイクルセンターへ大型のPETプレス機を導入】



# 【板橋リサイクルセンターへ蛍光灯・スプレー缶・ライターの処理施設を導入】



## 【収集運搬車両へタブレット端末の搭載が本格化】





本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。